

経済建設常任委員会活動報告

当委員会は2月4日に県庁県土整備部砂防水資源課及び同河川課を訪れ、県管理ダムの調整放流により豪雨増水被害を少しでも回避できるよう要望しました。さらに民間管理ダムの調整放流も併せて求めました。

次に委員会は茨城県筑西市を訪れ、母子島遊水地の整備状況や経緯等について視察を行いました。当地は本市を源流とする小貝川の下流に位置し昭和61年8月の洪水により家屋や農地等の浸水等甚大な被害を受けた場所です。特に小貝川と大谷川の合流地域における災害復旧事業として国の直轄河川激甚災害対策特別緊急事業の認定となり、昭和61年度から5ヶ年、総事業費約208億円をかけ事業が進められました。主な事業として遊水地の整備、小貝橋の架け替え及び築堤護岸・掘削等が行われました。本市の水害対策の参考になりました。

経済建設常任委員会 委員長 平塚 英教



母子島遊水地で整備状況を視察する委員